

男しかできないことがある

男ちゅうもんはここぞという時、
揮締めてやるもんじや

「あ この家ん前は坂じやき、
この道具がいるぜよ」

顔面ネット付きの草刈り機、鎌、
工夫を重ねた自前の道具を携

えて、地下足袋の男衆が、続々と
JAコスモスの駐車場に集まつ
くる。今日は、同JAの男性だ
けの助け合い組織「赤い揮（ふん
どし隊）」の活動日だ。配布され
た分担表を手に円陣ができる。
「ケガに気をつけ反省会でおい
しい酒を飲もう」との中村卓司
隊長の掛け声に、隊員はそれぞ
れの現場へ散つていた。

ここ佐川町は、高知市から西へ
車で一時間ほどの中山間地。こ
の時期は黄金の稲穂が四国山地
へと続き、高台からは遙か太平
洋が見渡せる。佐川町、仁淀川
町、越知町、日高村、いの町の一
部を管内とするJAコスモスの
規模は、県内3位。正准合せ
て約17000人の組合員から
成る。管内住民の高齢化率は
34.2%（平成19年現在）で、有数
の高齢化先行地域である。高齢
による就農者の減少どころか、
出生数が死亡数を下回る人口
自然減も、国の政策よりはるか
に大きい。

ここ佐川町は、高知市から西へ
車で一時間ほどの中山間地。こ
の時期は黄金の稲穂が四国山地
へと続き、高台からは遙か太平
洋が見渡せる。佐川町、仁淀川
町、越知町、日高村、いの町の一
部を管内とするJAコスモスの
規模は、県内3位。正准合せ
て約17000人の組合員から
成る。管内住民の高齢化率は
34.2%（平成19年現在）で、有数
の高齢化先行地域である。高齢
による就農者の減少どころか、
出生数が死亡数を下回る人口
自然減も、国の政策よりはるか
に大きい。

ここ佐川町は、高知市から西へ
車で一時間ほどの中山間地。こ
の時期は黄金の稲穂が四国山地
へと続き、高台からは遙か太平
洋が見渡せる。佐川町、仁淀川
町、越知町、日高村、いの町の一
部を管内とするJAコスモスの
規模は、県内3位。正准合せ
て約17000人の組合員から
成る。管内住民の高齢化率は
34.2%（平成19年現在）で、有数
の高齢化先行地域である。高齢
による就農者の減少どころか、
出生数が死亡数を下回る人口
自然減も、国の政策よりはるか
に大きい。

ここ佐川町は、高知市から西へ
車で一時間ほどの中山間地。こ
の時期は黄金の稲穂が四国山地
へと続き、高台からは遙か太平
洋が見渡せる。佐川町、仁淀川
町、越知町、日高村、いの町の一
部を管内とするJAコスモスの
規模は、県内3位。正准合せ
て約17000人の組合員から
成る。管内住民の高齢化率は
34.2%（平成19年現在）で、有数
の高齢化先行地域である。高齢
による就農者の減少どころか、
出生数が死亡数を下回る人口
自然減も、国の政策よりはるか
に大きい。

この家ん前は坂じやき、
この道具がいるぜよ」

顔面ネット付きの草刈り機、鎌、
工夫を重ねた自前の道具を携

えて、地下足袋の男衆が、続々と
JAコスモスの駐車場に集まつ
くる。今日は、同JAの男性だ
けの助け合い組織「赤い揮（ふん
どし隊）」の活動日だ。配布され
た分担表を手に円陣ができる。
「ケガに気をつけ反省会でおい
しい酒を飲もう」との中村卓司
隊長の掛け声に、隊員はそれぞ
れの現場へ散つていた。

ここ佐川町は、高知市から西へ
車で一時間ほどの中山間地。こ
の時期は黄金の稲穂が四国山地
へと続き、高台からは遙か太平
洋が見渡せる。佐川町、仁淀川
町、越知町、日高村、いの町の一
部を管内とするJAコスモスの
規模は、県内3位。正准合せ
て約17000人の組合員から
成る。管内住民の高齢化率は
34.2%（平成19年現在）で、有数
の高齢化先行地域である。高齢
による就農者の減少どころか、
出生数が死亡数を下回る人口
自然減も、国の政策よりはるか
に大きい。

ここ佐川町は、高知市から西へ
車で一時間ほどの中山間地。こ
の時期は黄金の稲穂が四国山地
へと続き、高台からは遙か太平
洋が見渡せる。佐川町、仁淀川
町、越知町、日高村、いの町の一
部を管内とするJAコスモスの
規模は、県内3位。正准合せ
て約17000人の組合員から
成る。管内住民の高齢化率は
34.2%（平成19年現在）で、有数
の高齢化先行地域である。高齢
による就農者の減少どころか、
出生数が死亡数を下回る人口
自然減も、国の政策よりはるか
に大きい。

ここ佐川町は、高知市から西へ
車で一時間ほどの中山間地。こ
の時期は黄金の稲穂が四国山地
へと続き、高台からは遙か太平
洋が見渡せる。佐川町、仁淀川
町、越知町、日高村、いの町の一
部を管内とするJAコスモスの
規模は、県内3位。正准合せ
て約17000人の組合員から
成る。管内住民の高齢化率は
34.2%（平成19年現在）で、有数
の高齢化先行地域である。高齢
による就農者の減少どころか、
出生数が死亡数を下回る人口
自然減も、国の政策よりはるか
に大きい。

ここ佐川町は、高知市から西へ
車で一時間ほどの中山間地。こ
の時期は黄金の稲穂が四国山地
へと続き、高台からは遙か太平
洋が見渡せる。佐川町、仁淀川
町、越知町、日高村、いの町の一
部を管内とするJAコスモスの
規模は、県内3位。正准合せ
て約17000人の組合員から
成る。管内住民の高齢化率は
34.2%（平成19年現在）で、有数
の高齢化先行地域である。高齢
による就農者の減少どころか、
出生数が死亡数を下回る人口
自然減も、国の政策よりはるか
に大きい。

ここ佐川町は、高知市から西へ
車で一時間ほどの中山間地。こ
の時期は黄金の稲穂が四国山地
へと続き、高台からは遙か太平
洋が見渡せる。佐川町、仁淀川
町、越知町、日高村、いの町の一
部を管内とするJAコスモスの
規模は、県内3位。正准合せ
て約17000人の組合員から
成る。管内住民の高齢化率は
34.2%（平成19年現在）で、有数
の高齢化先行地域である。高齢
による就農者の減少どころか、
出生数が死亡数を下回る人口
自然減も、国の政策よりはるか
に大きい。

ここ佐川町は、高知市から西へ
車で一時間ほどの中山間地。こ
の時期は黄金の稲穂が四国山地
へと続き、高台からは遙か太平
洋が見渡せる。佐川町、仁淀川
町、越知町、日高村、いの町の一
部を管内とするJAコスモスの
規模は、県内3位。正准合せ
て約17000人の組合員から
成る。管内住民の高齢化率は
34.2%（平成19年現在）で、有数
の高齢化先行地域である。高齢
による就農者の減少どころか、
出生数が死亡数を下回る人口
自然減も、国の政策よりはるか
に大きい。

ここ佐川町は、高知市から西へ
車で一時間ほどの中山間地。こ
の時期は黄金の稲穂が四国山地
へと続き、高台からは遙か太平
洋が見渡せる。佐川町、仁淀川
町、越知町、日高村、いの町の一
部を管内とするJAコスモスの
規模は、県内3位。正准合せ
て約17000人の組合員から
成る。管内住民の高齢化率は
34.2%（平成19年現在）で、有数
の高齢化先行地域である。高齢
による就農者の減少どころか、
出生数が死亡数を下回る人口
自然減も、国の政策よりはるか
に大きい。

JAとして、助け合い活動に 力を入れています

JAは、「協同」がテーマであり、地域と一緒にやっていくことが求められる組織です。私の住む集落は、一番若い人が35歳、ほとんどの住民が50歳以上です。何もしなければ将来には、集落の消滅が見えています。高齢化と過疎化が進んだ今、力を出し合い、地域を支えることが重要です。

平成15年からの3ヵ年計画では、組合員自らが10年後のJAの将来を見据え、「ありたい姿のJA改革」を行おうという取り組みを進めてきました。

事業所の統廃合をする前提として、送迎車を走らせたり、購買店舗を組合員が運営するなど、地域を守るためにアイデアが出されました。小さなコンビニを作り、月に2回鮮魚の販売を行ったのも好評でした。

助け合い活動は、組合員自らの熱意によって発展してきました。女性部の活躍も目覚しく、ホームヘルパーも管内に721人います。女性部が中心となった「見守りネットワーク」の取り組みは、高知県全体に広がりました。

「赤い揮隊」の活躍をどうご覧になりますか

50代から80代までの隊員が力を合わせて、助け合いの理想の姿、お手本を見せてくれています。地域の活性化に大きく貢献しています。助け合い活動にとどまらず、地域の祭りにも積極的に参加したりと、福祉と地域活動が一体になっているところも特徴です。各地から視察があり、徳島県でも男性の助け合い組織が発足すると聞きました。活動が全国に広がっていくことを期待しています。

JAとしての今後の目標は

キーワードは「ふるさと運動」です。人口が減少し続ける中で、「定年したら、ふるさとで楽しい農業をしよう」と提案し、将来的には高知市内へ流出した住民に、「ふるさと回帰してもらえるJAに」と目標を掲げています。赤い揮隊に、組合員でない人も参加してくれています。助け合い組織での交流も含め、都市に出た人の力をふるさと呼び戻し、地域を活性化していくと考えています。



五
口
る
▼
伊
藤
喜
男
代表理事組合長

JAとして、助け合い活動に 力を入れています

JAは、「協同」がテーマであり、地域と一緒にやっていくことが求められる組織です。私の住む集落は、一番若い人が35歳、ほとんどの住民が50歳以上です。何もしなければ将来には、集落の消滅が見えています。高齢化と過疎化が進んだ今、力を出し合い、地域を支えることが重要です。

平成15年からの3ヵ年計画では、組合員自らが10年後のJAの将来を見据え、「ありたい姿のJA改革」を行おうという取り組みを進めてきました。

事業所の統廃合をする前提として、送迎車を走らせたり、購買店舗を組合員が運営するなど、地域を守るためにアイデアが出されました。小さなコンビニを作り、月に2回鮮魚の販売を行ったのも好評でした。

助け合い活動は、組合員自らの熱意によって発展してきました。女性部の活躍も目覚しく、ホームヘルパーも管内に721人います。女性部が中心となった「見守りネットワーク」の取り組みは、高知県全体に広がりました。

「赤い揮隊」の活躍をどうご覧になりますか

50代から80代までの隊員が力を合わせて、助け合いの理想の姿、お手本を見せてくれています。地域の活性化に大きく貢献しています。助け合い活動にとどまらず、地域の祭りにも積極的に参加したりと、福祉と地域活動が一体になっているところも特徴です。各地から視察があり、徳島県でも男性の助け合い組織が発足すると聞きました。活動が全国に広がっていくことを期待しています。

JAとしての今後の目標は

キーワードは「ふるさと運動」です。人口が減少し続ける中で、「定年したら、ふるさとで楽しい農業をしよう」と提案し、将来的には高知市内へ流出した住民に、「ふるさと回帰してもらえるJAに」と目標を掲げています。赤い揮隊に、組合員でない人も参加してくれています。助け合い組織での交流も含め、都市に出た人の力をふるさと呼び戻し、地域を活性化していくと考えています。



五
口
る
▼
伊
藤
喜
男
代表理事組合長

JAとして、助け合い活動に 力を入れています

JAは、「協同」がテーマであり、地域と一緒にやっていくことが求められる組織です。私の住む集落は、一番若い人が35歳、ほとんどの住民が50歳以上です。何もしなければ将来には、集落の消滅が見えています。高齢化と過疎化が進んだ今、力を出し合い、地域を支えることが重要です。

平成15年からの3ヵ年計画では、組合員自らが10年後のJAの将来を見据え、「ありたい姿のJA改革」を行おうという取り組みを進めてきました。

事業所の統廃合をする前提として、送迎車を走らせたり、購買店舗を組合員が運営するなど、地域を守るためにアイデアが出されました。小さなコンビニを作り、月に2回鮮魚の販売を行ったのも好評でした。

助け合い活動は、組合員自らの熱意によって発展してきました。女性部の活躍も目覚しく、ホームヘルパーも管内に721人います。女性部が中心となった「見守りネットワーク」の取り組みは、高知県全体に広がりました。

「赤い揮隊」の活躍をどうご覧になりますか

50代から80代までの隊員が力を合わせて、助け合いの理想の姿、お手本を見せてくれています。地域の活性化に大きく貢献しています。助け合い活動にとどまらず、地域の祭りにも積極的に参加したりと、福祉と地域活動が一体になっているところも特徴です。各地から視察があり、徳島県でも男性の助け合い組織が発足すると聞きました。活動が全国に広がっていくことを期待しています。

JAとしての今後の目標は

キーワードは「ふるさと運動」です。人口が減少し続ける中で、「定年したら、ふるさとで楽しい農業をしよう」と提案し、将来的には高知市内へ流出した住民に、「ふるさと回帰してもらえるJAに」と目標を掲げています。赤い揮隊に、組合員でない人も参加してくれています。助け合い組織での交流も含め、都市に出た人の力をふるさと呼び戻し、地域を活性化していくと考えています。



五
口
る
▼
伊
藤
喜
男
代表理事組合長

JAとして、助け合い活動に 力を入れています

JAは、「協同」がテーマであり、地域と一緒にやっていくことが求められる組織です。私の住む集落は、一番若い人が35歳、ほとんどの住民が50歳以上です。何もしなければ将来には、集落の消滅が見えています。高齢化と過疎化が進んだ今、力を出し合い、地域を支えることが重要です。

平成15年からの3ヵ年計画では、組合員自らが10年後のJAの将来を見据え、「ありたい姿のJA改革」を行おうという取り組みを進めてきました。

事業所の統廃合をする前提として、送迎車を走らせたり、購買店舗を組合員が運営するなど、地域を守るためにアイデアが出されました。小さなコンビニを作り、月に2回鮮魚の販売を行ったのも好評でした。

助け合い活動は、組合員自らの熱意によって発展してきました。女性部の活躍も目覚しく、ホームヘルパーも管内に721人います。女性部が中心となった「見守りネットワーク」の取り組みは、高知県全体に広がりました。

「赤い揮隊」の活躍をどうご覧になりますか

50代から80代までの隊員が力を合わせて、助け合いの理想の姿、お手本を見せてくれています。地域の活性化に大きく貢献しています。助け合い活動にとどまらず、地域の祭りにも積極的に参加したりと、福祉と地域活動が一体になっているところも特徴です。各地から視察があり、徳島県でも男性の助け合い組織が発足すると聞きました。活動が全国に広がっていくことを期待しています。

JAとしての今後の目標は

キーワードは「ふるさと運動」です。人口が減少し続ける中で、「定年したら、ふるさとで楽しい農業をしよう」と提案し、将来的には高知市内へ流出した住民に、「ふるさと回帰してもらえるJAに」と目標を掲げています。赤い揮隊に、組合員でない人も参加してくれています。助け合い組織での交流も含め、都市に出た人の力をふるさと呼び戻し、地域を活性化していくと考えています。



五
口
る
▼
伊
藤
喜
男
代表理事組合長

JAとして、助け合い活動に 力を入れています

JAは、「協同」がテーマであり、地域と一緒にやっていくことが求められる組織です。私の住む集落は、一番若い人が35歳、ほとんどの住民が50歳以上です。何もしなければ将来には、集落の消滅が見えています。高齢化と過疎化が進んだ今、力を出し合い、地域を支えることが重要です。

平成15年からの3ヵ年計画では、組合員自らが10年後のJAの将来を見据え、「ありたい姿のJA改革」を行おうという取り組みを進めてきました。

事業所の統廃合をする前提として、送迎車を走らせたり、購買店舗を組合員が運営するなど、地域を守るためにアイデアが出されました。小さなコンビニを作り、月に2回鮮魚の販売を行ったのも好評でした。

助け合い活動は、組合員自らの熱意によって発展してきました。女性部の活躍も目覚しく、ホームヘルパーも管内に721人います。女性部が中心となった「見守りネットワーク」の取り組みは、高知県全体に広がりました。

「赤い揮隊」の活躍をどうご覧になりますか

50代から80代までの隊員が力を合わせて、助け合いの理想の姿、お手本を見せてくれています。地域の活性化に大きく貢献しています。助け合い活動にとどまらず、地域の祭りにも積極的に参加したりと、福祉と地域活動が一体になっているところも特徴です。各地から視察があり、徳島県でも男性の助け合い組織が発足すると聞きました。活動が全国に広がっていくことを期待しています。

##